

# Canon

## BINOCULARS

### 8×20 IS

### 10×20 IS



## IMAGE STABILIZER

JPN

使用説明書

# キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

キヤノン 8 × 20 IS (8 倍)、10 × 20 IS (10 倍) は、レンズシフト方式による手ブレ補正機能を搭載したプリズム双眼鏡です。

ご使用になる前に、この使用説明書をお読みになって理解を深め、操作に慣れた上で正しくお使いください。

また、この使用説明書はいつでも参照できるように適切に保管してください。

- IS は Image Stabilizer (手ブレ補正機能) の略称です。

## 本文中のマークについて



故障など不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

## 付属品

本製品には以下の付属品が付いています。

ケース .....	1
ストラップ .....	1
接眼レンズキャップ .....	2
リチウム電池 CR123A .....	1

## 目次

安全上のご注意 .....	JPN-2 ~ 4
各部の名称 .....	JPN-5
レンズキャップの使い方 .....	JPN-6
ストラップを取り付ける .....	JPN-6
電池を入れる .....	JPN-7
使用前の準備をする .....	JPN-9
手ブレ補正機能を使用する .....	JPN-10
ケースの使い方 .....	JPN-11
故障かな?と思ったら .....	JPN-12
主な仕様一覧 .....	JPN-13
修理対応について .....	JPN-14

# 安全上のご注意 (ご使用の前に必ずお読みください)

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。お使いになる方と他の人々への危害や損害の発生を防ぐためにお守りください。

**⚠ 警告 (双眼鏡について)** 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。



## ● 太陽を絶対に見ないでください。 失明の原因となります。

- 双眼鏡を直射日光のあたるところに放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。
- 双眼鏡や付属品を小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
- ポリ袋 (包装用) などを小さなお子様の手に届くところに置かないでください。かぶると窒息することがあります。
- ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

**⚠ 警告 (電池について)** 死亡や重傷を負う恐れがある内容です。

- 製品に使用する電池を乳幼児の手の届くところに置かないでください。また、乳幼児の見ている場所で電池の交換を行わないでください。電池を飲み込むと、化学反応により体内が冒されるため危険です。飲み込んだときは、すぐ医師に相談してください。
- 製品に使用する電池について、次のことにお守りください。発熱、発煙、発火、液漏れ、破裂などがおき、火災やけがの原因となることがあります。
  1. 公称電圧が 3.0V を超える電池や公称電圧が確認できない電池は使わないでください。
  2. 電池の+と-の向きをまちがえないでください。
  3. 液漏れした電池は使わないでください。
  4. 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは電池を外してください。
  5. 電池を分解、充電 (充電不可の電池)、高温下での放置、加熱、接点間のショート、火の中への投入など、しないでください。

**⚠ 注意（双眼鏡について）** 傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

- 双眼鏡を不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。
- 双眼鏡を歩きながら使用しないでください。衝突したり、転倒したりして、けがの原因となることがあります。
- 双眼鏡のストラップを持って振りまわさないでください。周りの人や物に当たりけがや破損の原因となることがあります。
- 双眼鏡の眼幅合わせの際に、指をはさみけがをすることがあります。小さなお子様が使用する場合には、ご注意ください。
- 破損したときは、破損部分や内部に触れないでください。
- 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れたりしないでください。
- 製品を高温や低温となる場所に放置しないでください。製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となることがあります。
- ゴム製アイカップの長時間の使用や、繰り返し使用により皮膚に炎症を起こすことがあります。もし、うたがわしい症状があらわれましたら医師にご相談ください。

**⚠ 注意（電池について）** 傷害や、製品以外の物的損害を負う可能性がある内容です。

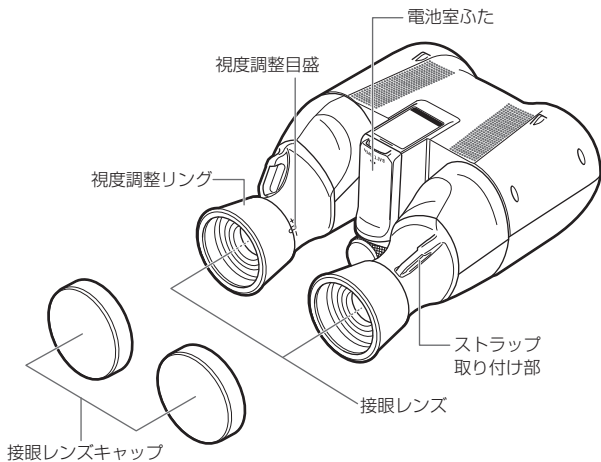
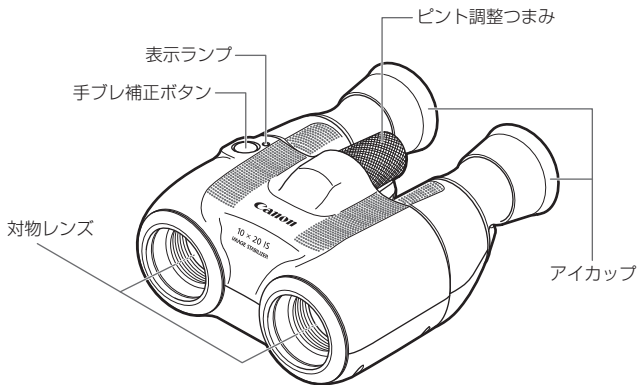
- 本製品を使わないときは、電池を取り外してください。液漏れを起こし故障、汚損、火災の原因となることがあります。
- 電池の液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。また、液体が付いた手で目や口などをこすらないでください。もし目や口などに入ったときは、きれいな水で十分洗った後、すぐ医師にご相談ください。
- 電池を取り外したときや廃棄するときは、電池の接点にテープを貼るなどして絶縁してください。他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

## 取り扱い上のご注意

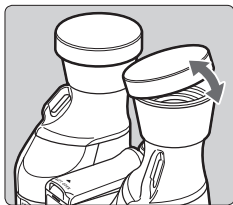
- 使用が禁止されている場所では、その指示に従ってください。
- 双眼鏡は精密機械です。強く押し下したり落としたり、強い衝撃や振動を与えないでください。また分解や改造をしないでください。
- 直射日光下の車の中などに本製品を放置しないでください。予想以上に高温になり、故障の原因となることがあります。
- 湿気、油煙やほこりの多い場所で使用、保管をしないでください。湿気の多いところではレンズ面にカビや曇りが生じやすくなります。長期間使わないときは、レンズ表面やボディの汚れをよく拭き取り、風通しの良い、乾燥したところに保管してください。
- 本製品は防水双眼鏡ではありません。雨やしぶきなどがかからないようにしてください。  
もし双眼鏡に水が付着したときは、乾いたきれいな布で、またゴミやほこり、塩分などが付着したときは、固くしぼったきれいな布でよくふき取ってください。  
万一、双眼鏡が水に濡れて、内部に浸水（水没）したり、ゴミやほこり、塩分などが内部に侵入した恐れがあるときは、早めに修理受付窓口にご相談ください。
- レンズおよびボディは、アルコール、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤を使って拭かないでください。  
レンズが汚れた場合は、最初にブローブラシでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除いてください。
- 本製品を寒いところから暖かいところに移すと、急激な温度の変化で双眼鏡の外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前に双眼鏡をビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。

# 各部の名称

\*イラストは 10 × 20 IS のものです。



# レンズキャップの使い方



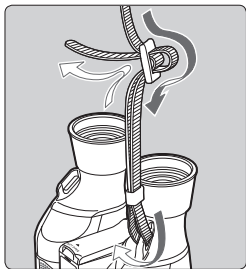
## 接眼レンズキャップを取り外す

- 双眼鏡を使用するときは、アイカップから取り外します。

## 接眼レンズキャップを取り付ける

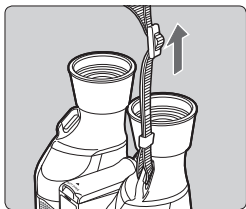
- 双眼鏡を使い終わったら、アイカップに被せて取り付けます。

# ストラップを取り付ける



## 1 ストラップを取り付ける

- ストラップの先端を、ストラップ取り付け部に通し、さらにストラップに付いている留め具の内側を通します。



## 2 留め具の部分を確認する

- ストラップを引っばって、留め具の部分がゆるまないことを確認します。



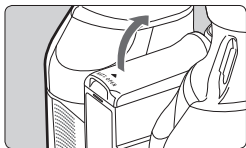
- 双眼鏡を使う前に、ストラップがしっかり取り付けられているか、消耗（損傷）していないかなど、ストラップの状態を確認してください。

# 電池を入れる

手ブレ補正機能を使用するために、リチウム電池 CR123A を 1 本使用します。

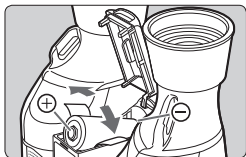


- 公称電圧が 3.0V を超える電池や公称電圧が確認できない電池は使用しないでください。



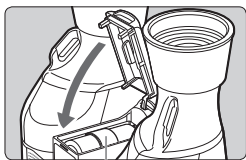
## 1 ふたを開ける

- 電池室ふたを開けます。



## 2 電池を入れる

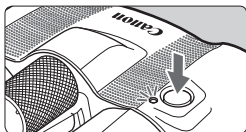
- 面ファスナーを開けて左右にひらいておきます。
- 電池を入れる向きは、電池室の底の表示にしたがって「+」「-」を間違えないように入れます。
- 電池の入れ方は、電池室内のバネ状「-」電極側から先に入れて、電池室の奥までしっかり入れます。



面ファスナー

## 3 電池を面ファスナーでしっかり固定する

- イラストの左側の面ファスナーを先に電池に巻きつけ、次に右側の面ファスナーをその上からしっかり巻きつけて電池を固定します。  
このとき、面ファスナーの巻きつけにゆるみがないか確認します。
- 電池を固定したら電池室ふたをしっかりと閉めます。



## 4 表示ランプの点灯を確認する

- 手ブレ補正ボタンを押して表示ランプが点灯することを確認します。(1 秒以上押し続けてください)





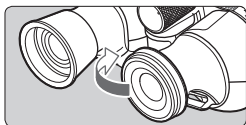
- 電池の取り扱いに関しては、p.2、3にある「△警告（電池について）」、「△注意（電池について）」をよくお読みください。
- 電池を入れるときは、「+」電極側から先に入れないでください。バネ状「-」電極を変形させて故障の原因になることがあります。
- 電池を面ファスナーで固定するとき、面ファスナーの取り付けにゆるみがないか、また消耗（損傷）していないかなど、面ファスナーの状態を確認してください。
- 電池室ふたの内側や電池室内に水分が付かないように注意してください。水分が付いたときは、必ず水分を取り除き、十分に乾燥させてから電池を交換してください。
- 電池を外すときは、手ブレ補正機能を停止させてから外してください。

### 使用電池と連続使用可能時間（当社試験条件による）

	23℃	- 10℃
リチウム電池 CR123A*	約 12 時間	約 8 時間

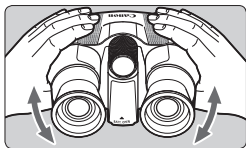
\* 連続使用可能時間は電池の銘柄により変わることがあります。

# 使用前の準備をする



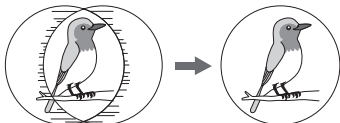
## 1 アイカップの準備をする

- 顔に直接アイカップが触れないようにしたい場合や、眼鏡をかけたまま双眼鏡を使用するときは、アイカップを折り返します。

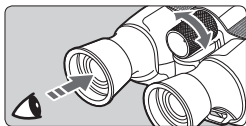


## 2 接眼部を左右の眼の幅に合わせる

- 双眼鏡の性能を十分に引き出し、眼の疲労を少なくするために行います。
- 双眼鏡をのぞき、左右の視野が重なるまで接眼部の角度を調整します。

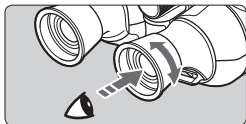


- 接眼部を眼の幅に合わせるときは、できるだけ遠くののものをみると合わせやすくなります。

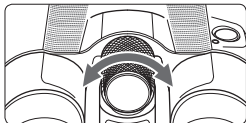


## 3 視度を調整する

- 左右の眼の視力(度数)の差を補正します。
- はじめに、左眼だけでのぞき、目標物がはっきり見えるまでピント調整つまみを回します。



- 次に、右眼だけでのぞき、左眼でピントを合わせた目標物がはっきり見えるまで視度調整リングを回します。



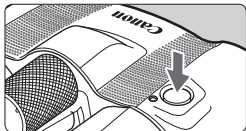
## 4 ピントの調整をする

- 別の目標物を見るときは、双眼鏡を両眼でのぞき、目標物がはっきり見えるまで、ピント調整つまみを回します。

# 手ブレ補正機能を使用する

目標物を観察しているときに、手ブレにより像がゆれて見えにくくなる場合には、手ブレ補正機能を使用すると像を安定させることができます。

手ブレ補正機能を作動させる方法は、次のとおりです。



## 5分間の連続作動と停止

- 手ブレ補正ボタンを押してすぐに離すと、手ブレ補正機能が5分間連続作動します。
- 手ブレ補正機能を途中で停止させるには、手ブレ補正ボタンをもう一度押して離します。

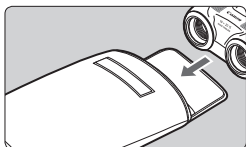
## ボタンを押し続けている間だけの作動と停止

- 手ブレ補正ボタンを押し続ける間だけ手ブレ補正機能が作動します。
- ボタンを離すと手ブレ補正機能が停止します。



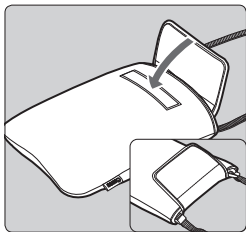
- 手ブレ補正機能の作動中は、表示ランプが点灯します。
- 表示ランプが点灯しない場合は、電池を新品に交換してください。
- 体ごと大きくゆれる場所や振動のある場所、または手ブレが大きすぎると、手ブレが十分に補正されないことがあります。
- 電池が切れると手ブレ補正機能は停止します。
- 電池が入っていない状態でも、通常の双眼鏡として使用できます。

# ケースの使い方



## 1 本体を入れる

- ストラップをケースの外に出して本体を入れます。



## 2 フラップ部を閉じる

- ストラップを伸ばした後にフラップ部を閉じます。



- 本体をケースに入れるときは、表示ランプが消えていることを確認してから入れてください。

## 故障かな？と思ったら

「双眼鏡が故障したのかな？」と思ったら、次の表を参考にしてチェックをしてください。なお、チェックをしても状態が改善しないときには、p.14に記載のお客様相談センターにご相談ください。

状 態	原 因	解決方法
像が明瞭に見えない。	レンズが汚れていませんか？	プロアーブラシでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
	視度調整してありますか？	視度調整してください。 (p.9・手順3参照)
	接眼部を眼の幅に合わせていますか？	接眼部を眼の幅に合わせてください。 (p.9・手順2参照)
	ピント調整していますか？	ピント調整してください。 (p.9・手順4参照)
手ブレ補正機能が作動しない。	電池は入っていますか？	電池を入れて、電池容量が十分か確認してください。 (p.7・「電池を入れる」を参照)
	手ブレ補正ボタンを押すと表示ランプは点灯しますか？	点灯しないときは電池が消耗しています。電池を新品に交換してください。 (p.7・「電池を入れる」を参照)

# 主な仕様一覧

	8x20 IS	10x20 IS
型式	プリズム双眼鏡	
倍率	8倍	10倍
対物レンズ有効径	20mm	
実視界	6.6°	5.3°
見かけ視界*	49.5°	
1000mにおける視界	115m	93m
射出ひとみ径	2.5mm	2.0mm
アイレリーフ	13.5mm	
焦点調整範囲	約 2m ~ ∞ (無限遠)	
眼幅調整範囲	56 ~ 72mm	
手ブレ補正方式	レンズシフトによる光学補正方式	
手ブレ補正角度	± 0.9°	
バッテリーチェック	表示ランプ (LED) 点灯	
電源	リチウム電池 CR123A 1本	
作動保証環境	温度：-10°C ~ +40°C 湿度：90%	
大きさ (全幅×全長×全高)	約 118 × 142 × 69 mm	
質量 (本体のみ、電池を除く)	約 420g	約 430g

\* ISO14132-1:2002 に基づく表記

### 修理対応について

1. 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。なお、運賃諸掛りは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品の修理対応期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。  
なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。

キヤノン双眼鏡ホームページ：[canon.jp/binoculars](http://canon.jp/binoculars)

キヤノンお客様相談センター：**050-555-90001**（直通）

受付時間〈平日／土〉9:00～17:00

（12月31日から1月3日は、休ませていただきます。）

※ 海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は043-211-9883をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

**Canon**